

2016年12月5日
AIG ジャパン・ホールディングス株式会社

AIG が沖縄の市民参加型演劇「飛べ！琉球島人 2016」に協賛 ～沖縄の文化継承と参加者の「表現教育」を目的として～

日本における AIG グループ（AIG ジャパン・ホールディングス株式会社、AIU 損害保険株式会社、富士火災海上保険株式会社、アメリカンホーム医療・損害保険株式会社、AIG 富士生命保険株式会社など）は、アメリカンホーム医療・損害保険株式会社（ブランド名：「アメリカンホーム・ダイレクト」以下「アメリカンホーム」）が 2013 年の立ち上げ当初より単独協賛してきた、劇団 O.Z.E 主催の市民参加劇「飛べ！琉球島人」を、今年はグループとして単独協賛しました。

アメリカンホームの協賛も含めると 4 年目となる今年は、11 月 5 日、6 日に 2 公演ずつ計 4 公演行われ、1,200 名以上の方が来場されました。

本番公演前日には、障がいをお持ちの方、高齢の方、社会参加に困難を抱える方など 135 名の方を無料でご招待し、AIG 社員・家族と一緒に楽しんでいただく「特別公演」が開催されました。

公演の売上から劇場使用料等経費を差し引いた全額は、地域の非営利団体などに寄付される予定です。



劇中には沖縄の昔の言葉である「ウチナーグチ」を取り入れたシーンがあり、普段「ウチナーグチ」に接する機会の少ない子ども達に沖縄の文化が継承されるような工夫が施されています。

また、劇中のほぼ全ての役を一般公募し、オーディションで選ばれた沖縄県内の小学生から社会人の方 37 名が演じました。公演の練習で行われる「表現教育」を通して、参加者のコミュニケーション能力、創造力、表現力、協調性を養成することや、演劇を通じた自己実現、達成感を得ることなどを狙いとしております。

県内有数の演出家である真栄平 仁氏が脚本と演出を手がけており、同氏が率いる劇団 O.Z.E の団員が、ほぼ演技未経験の参加者に対し、約 4 ヶ月間指導を行いました。



AIG グループ沖縄オフィスで行われた公開練習の様子

AIG ジャパン・ホールディングス株式会社 代表取締役社長兼 CEO ロバート ノディンは、「AIG グループは、2000年にAIUとアメリカンホームが沖縄県にコールセンターを開設して以来、沖縄県内での地域貢献活動を積極的に行ってきました。現在では富士火災とAIG 富士生命も沖縄県内にコールセンターを開設しており、沖縄県はグループにとってますます重要な拠点となっています。毎年たくさんの地元の皆さんにご観劇いただき、地元が一体になれるイベントに成長していることをとても嬉しく感じています。」と述べています。

〈AIG について〉

AIG グループは、世界の保険業界のリーダーであり、100以上の国や地域で顧客にサービスを提供しています。1919年に創業し、現在では、損害保険、生命保険、リタイヤメント商品、モーゲージ保険およびその他の金融サービスを幅広く提供しています。AIG グループの商品・サービスを通じた多岐にわたるサポートは、法人および個人のお客様の資産を守り、リスクマネジメントおよび確かなリタイヤメント・セキュリティをお届けします。持株会社 AIG, Inc.はニューヨークおよび東京の各証券取引所に上場しています。日本では、AIU 損害保険株式会社、アメリカンホーム医療・損害保険株式会社、富士火災海上保険株式会社、AIG 富士生命保険株式会社、ジェイアイ傷害火災保険株式会社、AIG 富士インシュアランスサービス株式会社、テックマークジャパン株式会社などが事業を展開しています。

詳細については、www.AIG.com をご参照ください。